

長野県木曾青峰高等学校〔全日制課程〕の「3つの方針」

学校教育目標 新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、
自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる

(re デザイン: 繰り返し描き実現して行く)

《生徒育成方針》

◇育てたい人間像

- あきらめない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人
- 課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていける人
- 自然や地域文化を大切にする心を持ち、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人

◇育てたい力

- 幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』
- 将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』
- 物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』
- 物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』
- 多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』
- 主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』

《教育課程編成・実施方針》

- ・【教育課程の編成】1 学年基礎プログラム（哲学・環境・地域理解・デザイン教育）と普通科・理数科の探究学習並びに専門科の実践・提案プログラムを有機的に編成し、『re デザイン力養成カリキュラム』と総称して自分や地域・社会の未来を re デザインできる力を育む教育活動を行う。
- ・【個に寄り添う指導】丁寧な個別指導・少人数授業を行い、生徒の多様な進路実現を支援する。きめ細やかな相談体制を充実させ、生徒の高校生活を支援する。
- ・【キャリア教育の充実】進学・就職ともに自己デザイン力を高め、内発的な進路希望を支援するとともに、変化する社会や地域の要請に対応できる生徒を育てる。
- ・【表現活動の充実】様々な教育活動において、表現活動を行う舞台を重視し、コミュニケーション能力を育てる。
- ・【理数教育の推進】生徒の理論的思考力や知的探究心を育むこれまでの理数教育を推進する。また SDG s に関わる視点を接合し、グローバルな課題についても関心を持つ生徒を育てる。
- ・【主体的活動の推進】高校生活をデザインするというコンセプトのもと、生徒会活動・部活動・ボランティア活動等の自主活動を奨励する。

《生徒募集方針》

- ・様々な主体的活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動）に関心があり、高校生活をデザインした上でその先の進路実現を構想したいと思っている生徒
- ・物事の本質に興味があり、探究心を深めたいと思っている生徒
- ・スマート林業・農業など産業の未来をデザインすることに関心のある生徒
- ・日本の産業を支える職人技やモダンアートなど技術的・個性的なモノづくりに関心のある生徒
- ・自然を愛し、環境を守り、持続可能な社会システムを築いていくことに関心のある生徒

《フィードバックシステム》

資質・能力の多面的・総合的評価による学びの PDCA サイクル

- ・テストによる評価に加えて、育てたい力についてルーブリック評価などの多面的・総合的評価
- ・授業ごと、単元ごと、学期ごとの振り返り評価
- ・卒業生、保護者、地域からの意見聴取の機会の設定